

機能性薄膜

幅広い分野で使用され、市場の拡大が期待できる。


①新材料	【安心・安全社会の実現】 セキュリティや監視システム、センサーで使われる赤外線光学部品分野へ参入	 【用途】 赤外線カメラ サーモグラフィ 各種センサー
センサー用 近赤外線光学部品		
②ウェットコーティング	【エコ関連製品】 汚れが付きにくく、付いてもすぐ取れる防汚コーティングや、雨で汚れを洗い流すセルフクリーニングコーティング	 【用途】 太陽光パネル カーガラス タッチパネル 照明用防汚カバー
③表面加工	【製品付加価値】 ガラス表面に周期的な微細加工を施すことで、「反射防止効果」、「アンチグレア」、の効果がある。	 【用途】 カーナビ用 ディスプレイ 光学レンズ

機能性薄膜

13.3期に早期の収益化を行い、将来の柱へ育成

①新材料分野 製品市場の一例

赤外線関連製品の市場規模は12年に2,200億円と推定される。人感センサー、FA、セキュリティ等を含む。(日本アビオニクス社推定)



単位: Millions of Dollars

(Maxtech社(米国)調査資料(2009年版)を参考としたITAの推定)

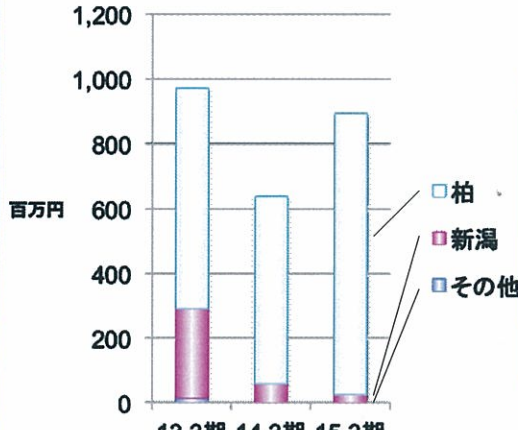
今後の展開

- 既存の蒸着設備を改造し初期投資を削減する
- 薄膜新材料と、当社保有の多層膜技術を融合し製品分野を拡大
- 産総研、東海大との共同研究による産官学連携の構想

業績予想と中期目標

設備投資計画

今後、高水準の設備投資を計画



13.3期の主な設備投資予定	
柏 F-2炉	252百万円
柏 フリット関連	184百万円
新潟への移設 薄膜、クリーンルーム他	175百万円
合計	986百万円